



小坂井 実 議員

## 市の社会教育施設に歌謡ショー のできる音響設備を

問

総合社会教育センターや十四山スポーツセンターに、歌謡ショー等ができる音響設備を設置してはどうか。年に数回開催されるカラ

オケ大会では、音響設備設置に約50万円かかり、1曲5、000円の高額な料金で参加者が歌っていると聞いている。

地域づくり、地域間交流にも役立つと思うがどうか。

今後も現況のまま  
利用してほしい

答 社会教育課長

音響機器は使用団体が搬入しており、今後も現況のまま利用してほしいと考えている。  
総合計画で、文化ホール

等の生涯学習拠点施設整備を検討することとしているので、その中で音響設備も検討していくことになると思う。

## 穂波通線の用地交渉の進展は

問

都市計画道路穂波通線について、平島町の観音寺を通る所が狭いままだが話し合いはしているのか。

早期移転を求めて  
いきたい

答 市長

観音寺の買収、補償問題は、7月8日に契約済である。移転を計画されており、

さまざまな問題もあるかと思うが、できるだけ早く完全移転を求めていきたい。関係地権者には、引き続き交渉を進めながら北方向への用地買収を進めていく。



観音寺(写真右奥)と拡幅予定の穂波通線(矢印)

総合駅ビル構想を  
考えてはどうか

問

町時代に総合駅ビル構想を提案した大学教授に会い「近鉄・JR・名鉄総合駅

ビルの上に新庁舎をつくらどうか。駅前開発から第三セクターによる商業ビルやマンション等、海部地区の顔となる庁舎をつくるはどうか」との提案を聞いた。

(将来的に)道州制や海部地区一本として新市に生まれ変わる構想に立った場合、鉄道アクセスの最高の地ではないか。遠大な構想ではあるが、50年、100年の計に立った場合、一つの選択肢として考えたらどうか【関連記事7頁】。

やるべきことが他  
に山積している

答 市長

市としてはまだやるべきことが山積している。しかし、総合計画の中でそういった構想を打ち出している。財源等も考えながら、前向きな気持ちだけは忘れないようにしていこうと思っ